



平成25年度 復興応援隊・地域支援員中間報告会 地区活動報告シート

①

市町・隊名： 気仙沼市 地域支援員

人数： 10人

【テーマ】

みんなで支え合い、住みよい環境を作ろう

【主な活動】

- ① 自治組織の運営支援
- ② 自治組織の維持・活性化につながる活動
- ③ 復興に係る情報収集及び情報提供



市町・隊名： 気仙沼市 地域支援員

【今年度前期、活動している中での3大ニュース】

①タイトル：自治組織の運営支援

○ワークショップの企画・運営

震災から2年が経過し、仮設自治組織では役員改選などが行われているが、この間、役員にかなりの負担がかかり、担い手不足などから役員が決まらず休止状態になっている組織も出てきている現状である。

また、コミュニケーションの場である集会施設が、管理などの問題で十分に活用されていない組織もあることから、仮設住宅代表者会議の中で「みんなで使う集会所について」というテーマでワークショップを開催し使用状況などについて情報交換を行った。

利用時におけるルールや備品管理などの課題は残ったものの、コミュニケーションの場である集会施設の重要性が理解された。

②タイトル：地域の維持・活性化にかか事業

○市から自治組織への補助金交付

震災により自治組織の維持及び活性化が困難な状況にあることから、本市では独自に仮設自治組織及び既存自治組織に対し運営費補助金を交付している。

地域支援員としては、補助金交付についての説明会に参加し、申請手続きの手伝いなどを行い申請を促すとともに、補助金の活用相談や受付業務を実施し自治組織の維持及び活性化につなげた。

③タイトル：復興に係る情報収集及び情報提供

○災害公営住宅入居仮申込み書「書き方会」の実施

災害公営住宅入居の仮申込みに伴い、提出漏れ等も予想されることから、担当課による勉強会を開始し、支援団体などと連携して提出を促すチラシを作成し配布するとともに、理解が難しい高齢者などを対象に全仮設住宅において書き方の手伝いを行った。

来場者は279名であり、相談件数も相当数に上ったが担当課へつなぎ直接相談に応じてもらった。

来場者からは、多数のお礼の言葉が聞かれ、改めて地域支援員の存在をアピールできた。



市町・隊名： 気仙沼市 地域支援員

【未来の3大ニュース】 (今年度後半の活動でこうなっていたいと思うニュースを3つ書いて下さい)

①タイトル: 自治組織の運営支援

○仮設住宅居住者間の交流が活発になる

若者と高齢者との世代を超えた行事の開催等に向けて、企画・運営の支援を行う。

例: 仮設住宅内の畑で収穫した野菜を使った収穫祭の開催等

②タイトル: 自治組織の維持・活性化につながる活動

○今まで以上の交流の場を目指して

集会所の利用方法や備品管理など、仮設住宅のよって良い面と見直してほしい面とが出てきている。引き続き、会長・役員を中心とした住民の皆さんと話し合いの場を設け、仮設ごとの使用ルールを振り返ったり、備品の確認を行うなど、より使いやすい交流の場になるようサポートしていく。

③タイトル: 復興に係る情報収集及び情報発信

○仮設住宅と既存住宅との交流促進

仮設住宅の住民の方々に、必要と思われる情報(市内の様々な地域情報etc...)をコミュニティペーパーで発信していく事により、仮設住宅にとどまらず既存地域との交流や情報交換のきっかけをつくっていく。